

あんてな

四国フェリー
グループ会社

「高速千円」に負けぬ

小豆島 パンフでPR

「小豆島ツテ イタリアですか!」。こんな言葉に外国人男性がポーズを決める。一見すればファッション雑誌の表紙のよう。

高松と小豆島、宇野（岡山県）などを結ぶ航路を運航する四国フェリーのグループ会社、日の出商事発行のPRパンフ写真だ。A4判で見開き8ページ。イタリア人男性が小豆島の観光地を巡りながら故郷を思う、という設定だそうだ。瀬戸内海と地中海。温暖な気候やオリーブなどの生産地と共通点も多い。

「恋人の聖地」として人気上昇中のエンジンロードを1人で訪れたこの男性は「こんな美しい眺めを前に、『アモーレ』とささやけないなんて」とぼやき、「二十四の瞳映画村」では「グランママ思い出しました」。

「高速利用1千円」で大打撃を受けた宇高航路。船でしか行けない小豆島のPRに力を入れる。昨夏から大阪や福岡などの高速SAに置いている。第2弾も検討中という。（清野有希子）

◆
ちよつとした街のニュースをお届けするコーナー「あんてな」を随時掲載します。あなたの回りの耳寄りな情報や話題を、〒760・0018 高松市天神前2の1 朝日新聞高松総局「あんてな」係へお寄せ下さい。Eメール (takamatsu@asahi.com)、ファクス (087・831・5737) も可。



パンフレットを作った日の出商事
の三井陽子社長 高松市玉藻町

新コーナー 情報お寄せください